



## 安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
  - ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。








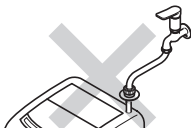

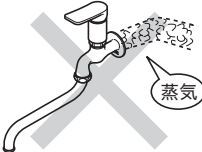
 この絵表示は、してはならない「禁止」の内容です	 この絵表示は、「分解禁止」の内容です	 この絵表示は、「接触禁止」の内容です	 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です
--	--	--	--













やけど、漏水をした場合の処置

**やけど**  
**漏水**

やけどをした場合は、すぐその箇所に水を流しながら冷やしてください。そして専門の医師の診察を受けてください。

漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。

<b>警告</b>	<p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</p> <p> 禁止</p> <p> 85℃より高温</p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>小さいお子様だけの使用は避けてください。</p> <p> 禁止</p> <p> やけど・けがをするおそれがあります。</p>	<p>高温の湯をお使いのときには水栓本体は熱くなっているため直接肌を触れないでください。</p> <p> 接触禁止</p> <p> あつい</p> <p>やけどをするおそれがあります。</p>
	<p>洗濯機用水栓や先止めタイプの水栓には使用できません。</p> <p> 禁止</p> <p> 器具が破損し、漏水により家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>給湯に蒸気を使用しないでください。</p> <p> 禁止</p> <p> 蒸気</p> <p>器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。</p>	

<b>注意</b>	<p>分解は、保守・点検の決められた項目以外のことはしないでください。</p> <p> 分解禁止</p> <p> 器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>器具に乗ったり、寄りかかったりして無理な力をくわえないでください。吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回さないでください。</p> <p> 禁止</p> <p> ぐいっ</p> <p>器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>めっき部品は、ぶついたり落としたりしないでください。鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p> <p> 禁止</p> <p> 禁止</p> <p>めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。</p>
	<p>めっきの表面が割れた場合は使用しないでください。</p> <p> 注意</p> <p> けがをするおそれがありますので、ただちに使用を停止し、新しい部品に交換してください。</p>	<p>レバーハンドル操作の急閉止は、配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。</p> <p> 注意</p> <p> ゆっくり</p> <p>急に閉めると「ドン」という音が出て配管に衝撃が加わり漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>凍結が予想される場所でご使用になる場合は、凍結予防を行ってください。</p> <p> 注意</p> <p> パリッ</p> <p>凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>

## ご使用方法

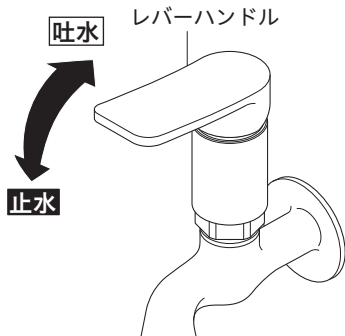
レバーハンドルを上げると吐水、下げると止水します。  
レバーを上げるほど、流量が増します。

使用開始時は、レバーハンドル操作が重い場合がありますが、しばらくご使用いただくと操作が軽くなります。

### 【お願い】

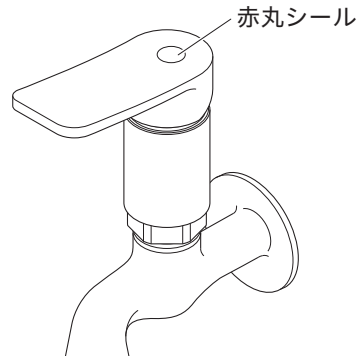
レバーハンドルは左右には回転させません。

無理に回さないでください。



## 給湯用としてご使用の場合

この水栓を給湯用として使用する場合は、同梱の赤丸シールをレバーハンドル上面に貼り付けてください。

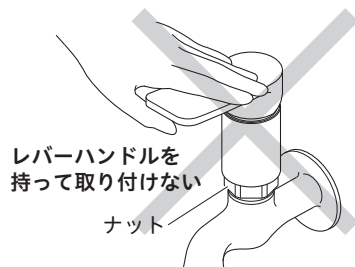


## 製品取り付けについて

### 【お願い】

製品取り付け時には、レバーハンドルを持たないでください。

レバーハンドルの向きが変わった際は、ナットを工具で固定しながら、手でレバーハンドルの向きを正面に合わせてください。



## 凍結予防のしかた

●水栓が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因となります。

凍結が予想される場所でご使用になる場合は以下の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- ・水栓より少量の水を出しておく。
- ・配管部に布を巻く。

株式会社KVK

インターネットホームページ <http://www.kvk.co.jp/>

404710-02